

筑北村 議会だより

第86号

令和2年3月19日発行

編集 筑北村議会だより編集委員
〒399-7501
長野県東筑摩郡筑北村西条4195番地
電話 0263-66-2111
FAX 0263-66-3370

今回の内容

- 12月定例会一般質問
- 筑北村監査委員事務局～
- 第4回こども議会

村の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が村長などの執行機関に対し、60分の持ち時間の中で事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めるところをいいます。

この一般質問により、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にさせます。結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。内容を要約して登壇順（質問順）にお知らせします。

※（紙面の都合上掲載できなかった質問もあります。）

11人の議員が発言・・・12月定例会

登壇順 (質問順)	～質問内容～	議員名
1	1. 筑北小学校跡地活用について 2. 新筑北小学校、新生聖南中学校の特色ある教育活動について	中村 弘
2	1. 高齢者交通対策について 2. 台風19号災害の早期復旧、分担金の取り扱いについて 3. やすらぎ野球場の収入増対策について 4. サッカー場の収入増対策について 5. 運動施設の有料予約者の優先について 6. 筑北スポーツクラブの実態について 7. 里山整備、緩衝帯整備の必要性について	吉池 昌昭
3	1. 麻績村筑北村学校組合の解散について 2. 高速通信網の進捗状況について 3. とくら 冠着荘当直手当について	鎌田 欣子
4	1. 災害対応について 2. スポーツ振興について	太田 守彦
5	1. 令和2年国勢調査について 2. 予定している工業団地について 3. 坂北荘の入浴料金について	西澤 良美
6	1. 高速情報通信網について	横山 敬
7	1. 制度改正に伴う会計年度任用職員制度の導入状況について 2. 今後における、し尿及び汚泥処理政策について 3. 令和2年度予算編成に係る課題について	関川 修次
8	1. 台風19号災害について 2. 松くい虫による枯損木処理について 3. 豚コレラへの対応状況について	佐藤 文男
9	1. 麻績村との合併について 2. 持続可能な財政健全化対策について 3. 情報システム経費について 4. 自治体クラウド経費について 5. クラウドを導入しない理由について 6. 台風19号災害について 7. 村営「向原霊園」について	勝田 昇
10	1. 令和2年度予算編成方針について 2. 国道143号新青木トンネルについて	前山 健治
11	1. 令和2年度当初予算について 2. プレミアム商品券の発行・利用状について 3. 平成の合併旧町村人口減少の顕著化について 4. SDGsへの村として取組について	小山 正博

質問 筑北小学校の跡地利用は、坂北地域の活性の鍵となると考えるが、いまだに跡地活用案が提案されないで次のことを尋ねる。①跡地活用に対し事務の進捗状況について②後利用への興味を持つ企業等への見学会実施について③学校施設の維持管理について、隣接するひま



中村 弘 議員

A Q
筑北小学校跡地活用
複合施設として利用



わり保育園の環境悪化が危惧されるため、プールの具体的な管理体制制と令和2年度の施設管理を担う担当課、及び予算計上の考え方。④跡地活用が決定となる見通しについて

企画財政課長 ①複合施設として

の利用を前提に考えている。筑北小でおこなっている放課後児童クラブは令和2年4月からも継続して当面は活用する。未使用スペースについては民間企業の視点で収益、地域活性化につながるよう提案を募る。地域のNPO法人等も含めて活用提案についても、視野にいれて考えていきたい。筑北村全体の活性化、行政コストの削減を目指して考えていきたい。②行政の一部利用を考えているので最終的に利用しないスペースまたは、行政がおこなう業務で民間の力を借りる必要があると判断される場合に実施予定だ。③プールについては保育園では使用しないので、使用しない方向で検討している。光熱費、施設管理は放課後児童クラブでの予算計上とする。④未定である。公共施設の

複合化、除却による施設・コストの削減及び収益、地域活性化に努めたい。

質問 旧本城小学校が日本ウエルネス信州筑北キャンパスとして開校。硬式野球部の活躍もあり県内外に筑北村の知名度が上がり、村のスポーツを利用した客が宿泊施設を利用することにより大きな収入源となつている。空校舎活用策は村、地域が元気になる施策をお願いする。

新筑北小学校・新生聖南中学校、特色ある教育活動

質問 令和2年4月以降の3年間は、特色ある学校づくりに大事な時期と考える。今後の教育活動方針を尋ねる。

教育長 小学校では「つつじっ子タイム」、中学校では「SEINANタイム」で筑北村の「ひと・もの・こと」とかわり、ふるさとについて知る活動に力をいれていきたい。例えば小学校5学年の『米作り』、中学校3学年の『地域食材を利用したご当地料理開発』みずから課題を見つけて探究的な学習を構想する。これらのふるさと学

習で、筑北村を知り、村に貢献する児童・生徒を育成していきたいと考える。



聖南中学校

A Q
高齢者交通対策
近隣の状況で検討



吉池 昌昭 議員

質問 令和2年度予算に高齢ドライバー事故防止、急発進防止機器取り付け補助の考えはあるか尋ねる。

総務課長 村内での誤作動の事故については承知していません。安曇野警察署管内の事故は人身事故399件、物損事故2670件、高齢者の関わる人身事故178件で約半数だ。村内では人身事故4件、物損事故6件が発生している。急発進防止機器は、4万から6万の価格で、取り付けに1万円くらい必要となる。国、近隣市町村の状況により検討していく考えだ。

質問 高齢者交通対策として、坂北、本城地域から、麻績J.A.医者へ行く、バスが無い現状だ。タクシー補助の考えがあるか尋ねる。

総務課長 昨年より運行しているデマンドバスは、交通弱者の移動手段の利便性向上を図ることが目的だ。村の公共交通会議で県より、他村への乗り入れができるように緩和を検討していく考えが示された。麻績村と協議しながら検討していく考えだ。

台風19号災害の早期復旧、 分担金の取り扱い

質問 台風19号災害の早期復旧について尋ねる。

村長 年度内復旧については、村単事業については極力年度内完成を予定しているが、一部は繰越になると思われる。国の補助を受けるものは、年度内完成は難しいと考えている。

質問 農業者の高齢化、遊休荒廃農地の増加の中、農地等復旧に関わる分担金の減免を検討すべきと考えるがいかがか。

村長 村の条例どおり徴収することで事務を進めている。農地は個人の所有物であり、合併後の災害でも同様の取り扱いをしている。



災害箇所

やすらぎ野球場の収入増 対策

質問 やすらぎ野球場の平成30

年度収入は2件で15万円だ。使用料減免数について尋ねる。

教育次長 減免は、学校法人タイケン学園（日本ウエルネス筑北高等学校）、村内スポーツ団体、県中学生体育大会、県軟式野球連盟、小・中大会を減免した。

質問 現在のやすらぎ野球場を利用する団体は他にないのか尋ねる。

教育次長 1月に調整会議をおこない年間予約が決まる。問い合わせがあっても、断るケースがある。今年度の利用料は1万8千400円だ。

サッカー場の収入増対策

質問 サッカー場収入についてだが、予算では250万円だったが、150万円余りの収入だった。減免の状況、収入増加対策について尋ねる。

教育次長 学校法人タイケン学園（日本ウエルネス高等学校筑北高校女子サッカー部）村関係大会、筑北スポーツクラブ、村内団体などは減免だ。収入増加対策は、冬期間及び平日の利用促進だ。

筑北スポーツクラブの実態

質問 スポーツクラブの実績には、協力隊2名とクラブの連携が書かれている。クラブへの村補助金は400万円あまり、協力隊の人件費は別途600万円あまりで合計1,000万円支出されている。スポーツクラブは、400万円の補助金で運営すべきではないか。協力隊は二重投資ではないか尋ねる。

教育次長 クラブ補助、協力隊人件費で1,000万円を越えている。協力隊が独自におこなう事業もあれば、双方のミッションが同様の部分もある。この場合は、お互いが協力しながら活動している。そのことを考慮すると問題ないと考える。

質問 協力隊は、地域の課題解決のための活動であるべきで、クラブ運営をすることについては、今後検討していただきたい。

この他、里山整備、緩衝帯整備の必要性について質問しました。

Q 麻績村筑北村学校
組合の解散
負担割合を基本



鎌田 欣子 議員

質問 資産（基金と繰越金）の分配方法について尋ねる。

教育長 本年8・10月に学校事務局の麻績村教育委員会、解散事務手続き、今後のスケジュール、財産関係、資産としての基金、不動産、備品等について話し合う。基金は解散時710万円、繰越金は約480万円である。麻績村筑北村学校組合規定13条の中の負担割合を基本として現在検討中である。

質問 建物、土地の分配に関する考え方、方法について尋ねる。

教育長 建物、土地については令和2年度以降筑北中学校を麻績村として運営がされるため基本麻績村に帰属すると考えられる。土地は35筆、面積2万6、

764平方メートルである。現地等を確認しながら検討し、良い方向性を出していきたい。

高速通信網の進捗状況

質問 坂井地域から移行工事が始まっている。現在の申し込み状況について尋ねる。

総務課長 12月3日現在97世帯の移行が完了している申込み状況は、本城地域57%、坂北地域61%、坂井地域86%である。5月末までが1つの区切りと考えている。

質問 現在の問題点について例えばあづみ野FMが聞こえない、TVの画像が映らない等ないか尋ねる。

総務課長 坂井地域から順次移行工事をすすめ、工事が完了した家庭からのクレームの連絡は受けていない。移行工事の課題としては、宅内工事ほかが伴うので在宅をお願いするなど日程の調整に苦慮している。またラジオの中継局建設後、電波状況が悪く屋外アンテナを立てないといけない世帯が140世帯ほど存在している。TVの工事に

合わせてラジオも視聴できるようにしていきたい。



防災ラジオ

18の冠着荘の直直手

質問 業務内容・勤務時間・当直代について尋ねる。

観光課長 当直の仕事は施設管理（かぎの開け閉め・喫煙所の整理など）防犯防火上の巡回、ボイラーの点検など）と入浴者の受付及び宿泊客がいる時は受付の対応が主な業務で多岐にわたっている。当直代は5,890円。

とくら
18・30～7・00内6時間
冠着荘
18・00～7・30内6時間

村長 働き方改革が来年度から施工されるので、検討していきたい。

質問 総務課と検討してより良い方向性が検討されるよう期待する。

AQ 災害対応
横断的な応援態勢



太田 守彦 議員

質問 来年度の区要望をとりまとめる時期となった。災害に関する要望状況を尋ねる。

総務課長 18の区から計151件の区要望があり、うち23件が災害復旧だ。

質問 災害に関する要望について、区長をはじめとする地区役員と話し合い、現場を確認していただきたい。

総務課長 要望個所の立会いには、区長、役員関係者にもお願いする。

質問 災害対応に関する区要望の財源について尋ねる。

建設課長 区要望の個所と災害個所が同じであれば、災害復旧予算で対応する。

質問 災害復旧は原則、現状復帰であり、区要望には災害予防的なものも考えられる。村民の安全を一番に、要望対応して頂きたい。危険個所という観点では、豪雨の中で村内の警戒にあたった消防団から情報収集すべきだ。

総務課長 近く分団長会議が予定されている。その中で、危険個所とか、最優先で見回る場所などの意見をお願いする。

質問 災害復旧については、既に11月の補正予算で3億5,000万、12月に2千400万円を追加した。急務である復旧事業を進めるにあたって職員体制の強化は必要でないか尋ねる。

村長 現在の一般職員数は80名のうち、建設課が6名、産業課は7名の体制である。災害個所が多く、復旧費用も多額ではあるが、現状では人的強化が厳しい。庁内での横断的な応援態勢に加え、関係する諸機関にも協

力を仰ぎながら対応したい。(特に技術系職員)



落橋した御子安橋

スポーツ振興

質問 平成30年度の決算認定において、サッカー場の使用料、収入の落ち込みについて以前に指摘した。村として営業努力したのか尋ねる。

教育次長 平成30年度は利用時間が約200時間減った。大口の団体が使わなくなったことなど要因はあるが、大会の誘致や前年度利用者への利用増進を図った。

質問 新規顧客の開拓を積極的におこなうべきだ。例えば、東

京や名古屋方面からの利用は、高速料金を半額補助するなど提案する。サッカー場、やすらぎ球場、そしてバドミントン体育館と、充実したスポーツ施設だ。来客による経済効果の把握はどうか。

教育長 数値での経済効果の把握は不十分だ。なお冠着荘の合宿利用について、人数で2・7倍、金額で2・1倍と大幅に増加した。

質問 あまり費用をかけずに経済効果の測定を実施して欲しい。

村長 村としても子供からお年寄りまで、スポーツを通じて活性化していきたい。

AQ 令和2年国勢調査 減少予測



西澤 良美 議員

質問 令和元年11月末の筑北村

の人口及び高齢化率を尋ねる。
住民福祉課長 令和元年11月末の筑北村の人口は、4,446人で高齢化率は、44・71パーセントだ。

質問 この人口減による交付税の見込みを尋ねる。

企画財政課長 平成27年国勢調査時人口は4,928人だった。この4年間で約480人減少している。この数値を基礎として本年度算定値を基に試算すると令和3年度の地方交付税は、20億4,000万円程度となり令和元年度より2億2,000万円減少する見込みだ。

質問 人口一人当たりどのくらいの交付税が措置されるのか尋ねる。

企画財政課長 交付税は、人口以外にも道路延長や面積等の数値を合せて計算される。計算項目の中に基準財政需要額という項目があり、この数値に参入される部分としては、人口一人当たり30万円となる。

PRPUSNET工業団地

質問 予定している工業団地へ



工業団地予定地

の水量及び水質について尋ねる。

建設課長 工業団地への給水

は、乱橋大門水系を予定している。配水池の容量は、54・6立方メートル、配水量は1日当たり16立方メートルだ。水の流入がなくても3日間もつ容量だ。現段階では、工業団地で使用する水量が把握できていない。今後の対策として、乱橋大門水系から水道を引くと減圧弁の設置が必要となる。このため途中に2日分の給水を賄えるだけの配水池を設置することを考えている。水質は、毎月検査をおこなう中で「飲料適」という結果がでてきている。

質問 栃平ダムの水を使用する

という話を聞いた。その点につき尋ねる。

建設課長 栃平ダムの水を工業団地に入れる予定はない。

質問 水道のようなライフラインは、災害時には人命に係わる。常に余剰水が出るようボーリング等調査をお願いする。

坂北荘の入浴料金

質問 聞くところによるとある人は、通常料金よりも安い2000円で入浴できるという。どういふことか尋ねる。

観光課長 平成22年度から坂北荘が業態変更をおこなった。その折に70歳以上の高齢者または、障害者手帳を持っている者については、入浴料を2000円とし、それが現在も続いていると理解している。

質問 私は、70歳以上の高齢者で、障害者手帳を持っているがそのような話は聞いたことがない。どういふことか尋ねる。

村長 現在、温泉施設運営等検討委員会で、温泉施設のあり方について令和2年2月を目途に検討をしてもらっている。この

中に入浴料についても検討をしてもらっている。報告として各施設の入浴料がどうなっているのか示される。そうなれば、再度入浴料について検討する。

AQ 高速情報通信網 暫定的に利用を認める



横山 敬 議員

質問 テレビ松本とのケーブル使用料について尋ねる。

村長 暫定的にテレビ松本に利用を認めている。現行の高速情報通信網の使用料徴収条例に基づき徴収する。

質問 村が今回新たに1億5千200万円の費用をかけてケーブルを引いている。償還を考慮すると他の自治体より高く使用料を設定しても良いと思われるがいかがか。

総務課長 金額的な部分については、現在調整している。必要に

応じて条例改正等も視野に入れながら、協議・調整を進めたい。

AQ 制度改正に伴う会計年度任用職員制度の導入状況 パートタイムで予定



関川 修次 議員

質問 現在の臨時職員数を尋ねる。

総務課長 現在一般職非常勤職員は9名、臨時的任用職員は150名となっている。

質問 新年度から始まる会計年度任用職員制度のフルタイム及び、パート職員の予定数を尋ねる。

総務課長 フルタイムでの任用職員の採用は予定していない。すべてパートタイムでの任用職員の採用を予定している。一般職非常勤職員、臨時的任用職員合わせて160名を予定している。

質問 今回の制度改正での臨時的任用職員の処遇の改善内容を尋ねる。

総務課長 給与、手当については一般職と同様に職務内容により月額報酬、日額報酬、時間額報酬を支給する。期末手当は週15時間30分以上勤務者を対象に6月、12月に上限1.3ヶ月支給を予定している。その他、一般職と同様に職員手当相当(時間外手当、通勤手当、宿日直手当他)も支給対象としている。

質問 臨時職員の賃金は物件費から制度改正後は、人件費に計上されるが、その影響額を尋ねる。

総務課長 平成30年度の全会計における臨時的任用職員の賃金は2億2千920万円であり令和2年は2億3千870万円と約1,000万円の増となる。また、制度改正により処遇の改善もあるが、地方公務員法の職務規定の対象にもなるので、改めて説明をしていきたい。

質問 国の分権政策により、末端の市町村業務が多種多様に増えている。一般職員も含めた職場環境の改善や職員のさらなる

モチベーションの向上対策を尋ねる。

総務課長 住民福祉の増進を図るため、組織として職員個々を尊重し、成長の機会と刺激を授け与しながら、目標達成の確認等をしてゆくことが肝要であり、より良い職場環境と職員間のコミュニケーションの構築が重要であると考えている。

今後における、し尿及び汚泥処理政策

質問 新年度予定する筑北保健衛生施設組合解散に伴う今後のし尿・下水道汚泥処理費用の全会計への影響額を尋ねる。

住民福祉課長 新年度からし尿・下水道汚泥処理は、収集運搬の民間委託と穂高広域施設組合での処理となる。これによりこの4月からし尿処理料金は10万円当たり117円から165円となり、下水汚泥は1,000円当たり1万8千700円となる予定だ。平成30年度と比較して、合併浄化槽の清掃、水張等の費用を除き全会計で600万円の増額となる。その他、穂高広域施設組合の新規加入負担金

1千520万円も予定している。

質問 組合解散により村民への直接的な影響を尋ねる。

住民福祉課長 汲み取り手数料が41%上昇することから25円/10口の補助、及び合併浄化槽の洗浄・水張費用は半額の3,000円補助等(2年間)の激変緩和措置を考えている。

質問 組合解散理由の一つに「法の定めにより行政を超えての処理はできない」としているが、国県共に広域化、共同化を推進し、補助制度もあり、管内市町村間で共同化処理事例もある。この度、筑北村は著しい人口減が続く中、組合を解散し、より多額の費用をかけて処理をおこなうことになる。なぜ、麻績村と行政区を超えて処理ができないのか尋ねる。

村長 老朽化の進む施設を一村では維持管理ができない。麻績村に依頼をしたがお断りをいただいた。よって、穂高広域施設組合に依頼することとした。今後は、村内施設の統合などをおこない経費節減を図っていく。その他、令和2年度予算編成に

向けて①事務事業の見直状況②村公共施設等総合管理計画の進捗状況と今後の取組③新年度予算編成方針について質問しました。



筑北保健衛生施設組合

Q 台風19号関連災害復旧状況
A 村単分年度内竣工予定



佐藤 文男 議員

質問 今回の災害状況を尋ねる。

村長 村道69箇所、国道で15箇所。河川は村が12箇所。県が40箇所である。復旧見直しについては、村単独分は年度内竣工予定だ。公共災害は、早いもので6月位であり来年度末には完了予定だ。

質問 災害箇所は大小合わせて171箇所と聞いているが、現在の復旧状況を探ねる。

建設課長 現在終わっている箇所は、20〜30%程度。業者もかなり手一杯なのが課題だ。

質問 農道と林道の災害状況について探ねる。

産業課長 農道は青柳地籍で大きな被害があり、国の補助を受けて、早期復旧を目指している。小規模な災害は、年度内完了予定だ。林道は年度内の復旧困難な状況だ。

質問 農地と水路、農業用施設の復旧の見直しについて探ねる。

産業課長 水路は、村や権利者自身により、順次復旧に努めている。水路のり面の崩落箇所は、国の補助事業活用し、早期復旧を目指している。

質問 避難所は12箇所です。最大502人の方が避難しましたが、問題や課題はあったか探ねる。

題や課題はあったか探ねる。

総務課長 避難所が一杯で、他の施設に移動してもらった。また、テレビ等情報提供が欲しい意見等あった。区長にアンケートを実施している。他にも各種意見があるので、今後取り入れで有事に備えていきたい。

質問 避難者が、途中で帰宅してしまふ状況が多く見られた。危険な行動と思うが、考えを探ねる。

総務課長 避難勧告中でもあり、まずかったかと思っている。今後状況確認後とするなど、方向性をきちんと出して対応していく。また、避難勧告が出た時の行動等について様々な機会に啓発をおこないたい。

質問 消防、自主防災組織等関係団体はどうであったか探ねる。

総務課長 消防は12月の会議で、課題等まとめる。自主防災組織関係は、4月の区長会でまとめる。今後は災害の種類、規模に応じて連携を強化していきたい。

質問 農業用ため池と砂防ダムも緊急時対応について探ねる。

め池の管理及び保全に関する法律が施行された。村でも重点ため池29箇所の指定をおこなない、本年は11箇所のハザードマップ作成を進めている。個人所有のため池もあり、県への届け出等進めている。

松くい虫による枯損木処理

質問 松くい虫による枯損木が最近、林地（山）との境界付近でも多く見られ、倒木による被害が増えている。住宅の屋根、田や畑、水路等被害が出ている。これから増加するし、安全面でも心配である。危険箇所は村で



枯損木処理

実施出来ないか探ねる。

産業課長 道路沿いの枯損木は、県の補助事業で処理している。被害の状況に応じて村の支援も可能であるので、相談頂ければ予算範囲内で対応を考えている。

豚コレラの豚熱対応状況

質問 野生イノシシへの対応で消毒の状況等現状を探ねる。

産業課長 山林に入った個人の方が、車等を現場で泥を落とし消毒液を噴霧実施することになっており。消毒剤を、県に注文してあるが、納品が遅れている。各猟友会へ配布し実施する。

AQ 麻績村との合併資料不足



勝田 昇 議員

質問 麻績村との合併を妨げるものがあるか探ねる。

村長 合併を検討する上で両村の状況を知って、その後、手をあげることが望ましい。現状では、麻績村の財政状況について、資料が不足している。

質問 麻績村が、素直に合併のテーブルについていただけるとう要望しておく。

質問 筑北村が誕生して十年以上が経過、坂井地域の飛び地は解消されていないことをどう考えるか尋ねる。

村長 私は飛び地とは考えていない。坂井地域で実施した事業効果で、人の出入りも増え、合併当初に比べて財政的にも数段良くなった。

持続可能な財政健全化対策

質問 村独自の財源確保を求められる時代になった。産業課・観光課の財源確保の施策を尋ねる。

産業課長 農地の貸借がスムーズにいくよう重点支援をおこなうことで法人の活動が活発となり、持続的な活動が可能となると考えている。

観光課長 多くの皆さんに来村

してもらい、買い物などをしてその結果として税金が増加する。また、スマートインターの設置で人の流れも変わり、より来村者の増加する好循環になると考える。

質問 地方交付税・村税の増加が見込めない中では、手数料・使用料・賃料の増収策を検討する必要がある、策を尋ねる。

企画財政課長 税や使用料等は、法令、条例等根拠に基づかない徴収はできない。クラウドファンディング等も研究する必要があると思う。

情報システム経費

質問 総務省調査によると、類以団体の朝日村と比べると、事務経費が5千700万程の開きがある。その要因を尋ねる。

総務課長 平成29年度に基幹システムの更改と共にクラウドシステムに移行した。この移行経費が要因と考える。

自治体クラウド経費

質問 自治体クラウドの財政措

置を受けない理由を尋ねる。

総務課長 筑北村は、自治体クラウドへ参加した訳ではなく、独立系の(株)電算のサーバーを利用した単独のクラウドだ。経費については特別交付税の参入があったか今の時点では、把握していない。

質問 今後システム経費が掛からないか尋ねる。

総務課長 単独のクラウドシステムを利用している。更新は経費が掛かる。村でサーバーが無い為、独立系の(株)電算のサーバーを利用してはいるからだ。

台風19号災害

質問 台風19号被害は、全額村費で賄うのか尋ねる。

企画財政課長 施設等被災した場合、補助・起債の制度がある。このため全額村負担に成らない。

村営「回原霊園」

質問 霊園に向かう道路の拡張、道路の側溝に再利用のグレイチングを要望したが、その経過を尋ねる。

村長 道路の拡張には、保安林の解除に時間が必要だ。また、別ルートで村の水道タンクのある場所から道路を伸ばす方が安く、早くできるかもしれない。グレイチングについては、村所有の再利用可能なグレイチングは、強度が不足している。他の方法で部分改良を検討している。

Q 令和2年度予算編成方針
A 43億程度を目標



前山 健治 議員

質問 令和2年度の特別会計を除いた予算見込み額及び新規事業計画を尋ねる。

企画財政課長 歳入の根幹となる普通交付税については、約21億9,000万程度で本年度より6千500万円減少すると見込んでいる。歳出の主な事業として、継続事業では、高速情

報通信網に係わる事業。スマートフォンインターチェンジの設置、穂高広域施設組合の分担金。新規事業では、新筑北小学校の旧給食棟の教室への改修、筑北保健衛生施設組合解散に伴う穂高広域施設組合の加入金となる。予算規模は、要求額の段階で43億を目標としている。

質問 新筑北小学校の給食棟建設事業の進捗状況を尋ねる。

教育次長 令和2年、年明けから電気工事、水道工事、内装工事に入り3月中旬に全体工事を終了させ、保健所等の検査を受けて引き渡しを受ける予定だ。

質問 スマートインターチェンジに係る付替え道路の国道403号線工事の進捗状況を尋ねる。

建設課長 令和元年12月5日に入札をおこない仮契約の手続き中で令和3年3月完成を目指している。本線工事については、ネクスコによると令和3年1月からの工事を見込み、令和5年3月供用開始を目指している。

質問 状況を聞くと概ね順調に進んでいる。目標に向かい議会としても村に協力して一緒に要

望活動等をおこない、一日でも早い供用開始を願う。

国道143号新青木トンネル

質問 先日松本建設事務所担当者から地質調査が開始されている旨の説明を現地で受けた。地質調査の結果がでなければ、着工年度が分からないとの説明を受けた。議員として要望活動をおこなう上で着工年度と完成年度を定めて活動をしたらどうかと思うがいかがか。

建設課長 完成年度を定めることは、必要だと思う。調査に基づく設計は、事業箇所ごとに条件が違うことから、予期せぬ検討項目に時間を費やす可能性もある。また、施工順序や方法も決定していない現段階においては、完成時期の設定、特定は難しい。

質問 7年後には、松本市を主会場として長野県で国体が開催される。松本市長が会長を務める期成同盟会等に筑北村としてトンネルの早期完成を提案してはいかがか。また、県道河鹿沢西条停車場線の拡幅改良も筑北

村として早急に対応をお願いしたい。



青木トンネル

Q プレミアム商品券の発行・利用状況購入額が少ない



小山 正博 議員

質問 消費税引上げの影響を緩和し地域の消費を喚起するため、扶養外住民税非課税者と3

歳未満児世帯を対象にプレミアム商品券が発行されたが、発行状況と課題を尋ねる。

住民福祉課長 11月現在で発行額は441万6,000円で、対象者の30%に留まっている。前回平成27年度に比較して購入額が少ない。11月22日までの利用額は198万円で販売券の36%が利用された。課題は、非課税者の購入手続きが複雑で高齢者に、十分に伝わらなかったことだ。



プレミアム商品券

人口減少の顕著化

質問 日弁連調査では、存続をした町村に比べて合併した旧町村の人口減少が加速している。近隣では、麻績村13%に対して

旧坂北村では18・9%また生坂村14・7%に対して旧大岡村(現長野市)では30・9%といずれも高い数値だ。旧坂井村・本城村の減少率を尋ねる。

住民福祉課長 旧坂井村は、15・0%で旧本城村では、16・6%だ。

質問 この数字をどう評価し、次年度に向けて政策を見直すか尋ねる。

村長 旧村ごとの減少率は先に答えた通りだ。市への合併と村が合併した本村とは一概には比較評価は、形態が違うのでできない。また、減少が合併の影響によるものか評価できない。国立人口問題研究所によると、2040年には2,000人台。年少人口は200人を切り、高齢化率は2030年度では50%を超えると推定された。減少は村に限らず、国全体の事象だ。減少歯止めのため子育て支援を初めとする各種施策を展開している。スマートインターチェンジ設置による物流・就労場所の確保・交流人口の増に期待している。

SDGs〈Society〉取組

質問 2018年に「SGDs(エスディージーズ)未来都市」に長野県が全国初で認定され、また次年度から小中学校でも授業となる。SDGs「持続可能な開発目標」とは、2015年に国連サミットで採用されたもので、「貧困や飢餓の撲滅、持続可能なエネルギーの確保、気候変動対策」等、2030年までに達成したい「17の国際目標」だ。当村の取組を尋ねる。

村長 持続可能な取組は、経済・環境・社会等の観点から推進されている。何を中心に取組むかノウハウが不十分で即対応の状況ではないが、現在対応の市町村を参考に検討したい。その他、「次年度当初予算」の質問をしました。

筑北村監査委員事務局会

筑北村監査委員監査基準を定めました

1. 監査委員は、財務監査、行政監査及び例月出納検査など様々な監査を実施してきました。
2. 今後は、「筑北村監査基準」に基づいた監査を実施します。
3. 監査基準は、村ホームページでご確認ください。

有権者の皆様へ

筑北村選挙管理委員会

選挙区が新しくなります。(再掲)

●ホットスポットちくほく85号(2020年1月発行)でもお知らせしましたが、令和元年8月23日(金)から9月24日(火)まで実施した投票区及び投票立会人数の見直し案に寄せられたご意見を参考に筑北村選挙管理委員会で検討した結果(ホットスポットちくほく84号(2019年11月発行))、下記のとおり選挙区を見直すこととなりました。再度、ご確認ください。今後の選挙は、新選挙区で実施します。

1. 新投票区及び立会人数は、以下のとおりとなります。

投票区名	投票区の区域	投票管理者数	投票立会人数
第11投票区	東条1区・東条2区・小仁熊区・丸山町区・西条区・聖南町区・乱橋区	1名	3名
第21投票区	刈谷沢区・東山区・中村区・青柳区・昭和町区・向原区・別所区の一部(七ツ松)	1名	3名
第22投票区	竹場区・仁熊区・別所区の一部(七ツ松除く)	1名	2名
第31投票区	上安坂区・中安坂区・下安坂区・下永井区・上永井区	1名	3名

2. 投票所までの距離が遠くなる方へむけて下記の方法を検討しています。

- (1)統合された投票所から新投票所までの送迎
- (2)移動期日前投票所(車): 公用車(ハイエース等)で投票箱や記入台等運び、統合される投票所の駐車場に1時間から1時間30分程度の時間を決めて臨時的投票所(車中で投票)を設置します。



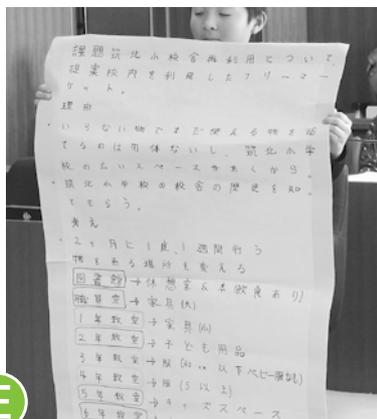
B

「より役立つ避難所とするために」提案：避難放送のあり方・砂防ダムの管理他



D

リスのユルキャラ（村の地図がリスに似ている）おやき・米やしよまをモチーフにする。



E

筑北小の後利用としてフリーマーケットしてはどうか。

第4回
こども議会
1月15日 議場にて開催
【2校で21名参加】



A

「災害時の安全確保」避難経路の安全確保について



C

やすらぎ広場にイルミネーションのイベント行う。



D

イベント・行事などにユルキャラを登場させる。

提案についての答弁を求めます



【議長】筑北小
山崎一翔さん

ほかに提案はありませんか



【議長】坂井小
宮下葉帆さん

筑北小は「筑北村のよさを発信し、より多くの人に筑北村に来てもらうには、どの様な政策や事業を進めていったらいいだろうか」「村には自然環境や子育てのしやすさ、スポーツ施設の充実など様々なよい所がある。その良さを多くの人に知ってもらうことで、観光客や人口を増やすことができる。」そのための提案をした。

坂井小は、「昨年10月に発生した台風19号の経験をし、避難場所やその周辺、周りの山が崩れそうになったり、川の大水によってあふれ被害が出たりするのではないかと心配になり、災害時の安全確保等について」提案をした。



E

フリーマーケットの期間は2ヶ月に1回開催してはどうか

各グループからの全体テーマ及び提案主旨並びに村長答弁主旨

グループ名	全体テーマ及び提案主旨	村長答弁主旨
A (坂井小)	<p>災害時の安全確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●避難道路の安全確保、山・川の安全確保、避難所の耐震性と駐車場の安全確保 	<p>大雨特別警報の発表により村民の皆さんに命を守る最善の行動をお願いしました。普段から災害が発生したらどうするか。家族で話し合ってください。</p>
B (坂井小)	<p>より役立つ避難所とするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公民館の補修、避難放送のあり方、砂防ダムの管理、公民館のトイレの増設 	<p>避難施設は、村民だけでなく村を訪れていた人たちも避難します。お互いに助け合い、励まし合いながら安心して安全に避難してもらえる施設を目指します。</p>
C (筑北小)	<p>筑北村のよさを発信し来てもらうために、「イベントの開催」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●やすらぎスポーツ広場でイルミネーション、インスタ映えする屋台、雪遊びの開催、イメージキャラクター、正月帰省に合せた開催 	<p>筑北村には、見どころのある自然環境やスポーツ施設などが整備されています。筑北村には、魅力のあるところがたくさんありますが、大きな市と比べて、まだまだ、筑北村の知名度は低いのかもしれません。みなさんが言われるように、多くの人に筑北村を知ってもらうにはどうしたらいいかを、みなさんと考えていければいいと思います。</p>
D (筑北小)	<p>筑北村のよさを発信し知ってもらうために、「ゆるキャラの作成」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●筑北村で有名なものを使ったリスのキャラクター、ゆるキャラと写真撮影、ゆるキャラ名前の募集、ゆるキャラのパン 	
E (筑北小)	<p>筑北村のよさを発信し知ってもらうために、統合後の「筑北小学校の後利用」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリーマーケットの開催、教室ごとに売り出すものを変える、2か月に1回開催、 	

※坂井小学校は、グループごとに全体テーマの説明があり、筑北小は、学校で一つの全体テーマの説明がありました。このため、村長答弁もグループに向けてのものと学校に向けてのものとなっています。

お詫び

マイクの調子(赤外線送受信)が悪く聞き取れない箇所がありました。今後の防止対策として、アンテナ数を増やして対応することとしました。